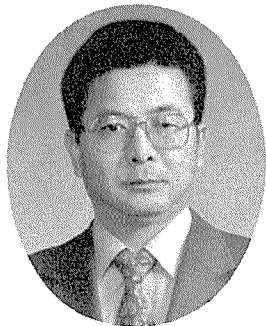


私 の 人 生

広報委員会



高 田 信 一

㈱高田地研代表取締役

私の少年時代は、父の勤務しておりました会社が倒産、工場閉鎖、住宅はもちろん、家具家財全て差し押さえられ、母の喘息での入院の生活の中で楽しい1時もありましたが、生活の苦しさ、大変だった事の方が多かったような気がしています。

父は、朝早くから自転車で出かけ、帰宅するのはいつも夜遅くで、父との会話も、ほとんど無い状態でした。しかし父の偉大さには、子供心にも感銘受けたのも、小学校4～5年のころだったと思っています。

私の住んでいる地域は天然ガスの噴出する所ですので、父の勤務していた工場では直営班でもってガス井戸を掘削しまして、その天然ガスを燃料にして、ガラスを溶解し注射器を製造していました。倒産と同時に社員の方々は、それぞれに就職し、最後に残った2～3名の方々と一緒に近隣の各家庭のガス井戸(深度90m前後)や水井戸を掘削したのが、当社の出発点でありました。

当時は機械も幼稚なもので、失敗の連続で大変苦労もあり給料も払えなかった様でした。徐々に機械の導入運搬車輛等もそろ

え、社会的にも認知されるまで5～6年位経過した様でした。

私も高校を卒業しますと、すぐ新潟の会社に就職しましたが、父から説得で、7ヶ月ほどで家業を継ぐ事になり、結婚するまでの8年間は井戸掘削専門に現場で働き、技術を身につけ、資格を修得し現在に至っております。

父は生前、世の中は勝てば官軍、負ければ賊軍だといつも話しておりました。

やはり、会社経営には倒産だけは絶対あってはならないと言う信念をもって、会社を維持し守って行く覚悟であります。

当社も丁度今年で40年の節目に当たりますので、㈱高田地研に社名を変更し、営業内容についても地下、地質の研究開発、地質調査、土質試験、温泉ボーリング、さく井、地すべり対策工事と巾広い専門業者として、社会に貢献しながら、邁進して行きたいと思っております。

当社の社是「明朗、向上、誠実」の元、社員とともに21世紀に向けて前進したいと思っております。

プロフィール

昭和17年8月25日生 52才

昭和36年3月 山形第一高等学校卒業

昭和37年1月 高田鑿井工業所勤務

昭和43年2月 地質調査技士取得

昭和58年5月 高田鑿井工業㈱  
代表取締役に就任

平成6年4月 ㈱高田地研に社名変更  
現在に至る

趣 味 ゴルフ、植栽

家 族 母、妻、子供3人